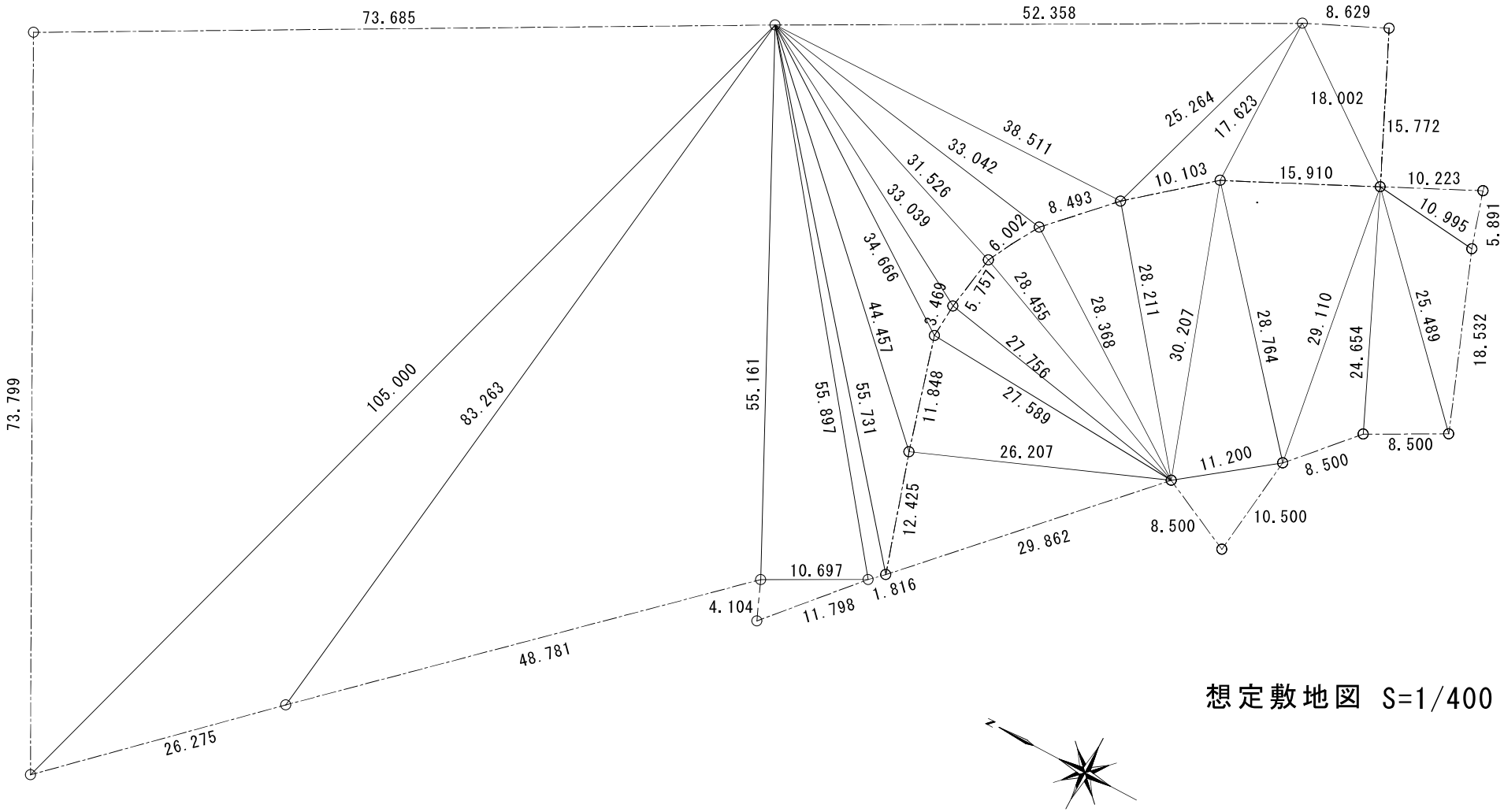
地質調査位置図（1/500）


73.685
52.358
8.629
73.799
105.000
83.263
55.161
55.897
55.731
44.457
34.666
33.039
31.526
33.042
38.511
25.264
17.623
18.002
15.772
10.103
15.910
10.223
10.995
5.891
8.493
6.002
5.757
3.469
28.455
28.368
28.211
30.207
28.764
29.110
24.654
25.489
18.532
27.756
27.589
11.848
26.207
11.200
8.500
8.500
8.500
10.500
12.425
29.862
10.697
1.816
4.104
11.798
48.781
26.275

想定敷地図 S=1/400

調 査 ボ ー リ ン グ

(Bor. No. 1)

ボーリング柱状図

調　査　名 [redacted]

ボーリングNo. 1

事業・工事名

シートNo. 1

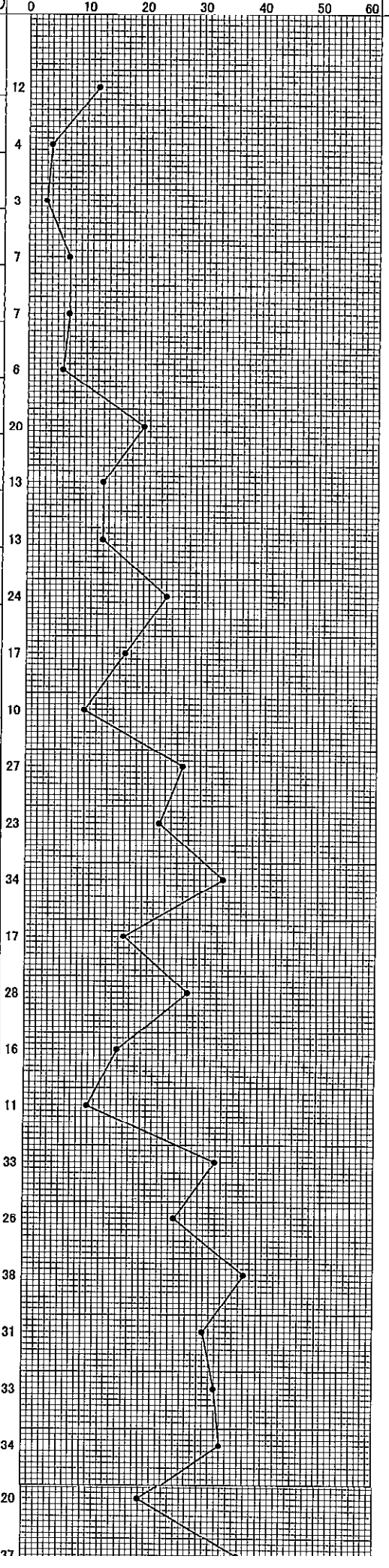
ボーリング名	[redacted]（Bor.No.1）	調査位置	香川県三豊市詫間町地内			北緯	34° 12′ 45.7″
発注機関	三豊市			調査期間	平成 25年 4月 16日 ～ 25年 4月 18日	東経	133° 41′ 20.2″
調査業者名	[redacted]	主任技師	[redacted]	現場代理人	[redacted]	コア鑑定者	[redacted]	ボーリング責任者	[redacted]
孔口標高	GH=+3.04m	角度	180°上 90° 下 0°	方向	北 0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	
総掘進長	47.22m								

試錐機	東邦地下工機製D2－G型	ハンマー落下用具	JIS規格品
エンジン	ヤンマー製NFD－10型	ポンプ	東邦地下工機製BG－3B型

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事		孔内水位(m)／測定月日
1					埋土（礫混り砂）	茶灰	非常に緩い～中位		花崗土等による埋立て土砂。性状は少量の細粒土分(シルト分)及びやや多～少量の礫分(φ=2～20mm程度)を混入する砂分(細～粗砂)主体のもので構成され，礫混り砂状を呈す。3.00m以深は高含水比を示す。	人工土	
2											
3	-0.26	3.30	3.30								4/18 3.00 ▽
	-0.66	0.40	3.70		シルト質粘土	暗灰		軟らかい	ごく少量の腐植物片を混入するほぼ均質な細粒土分(シルト～粘土分)主体のもの。	沖積層	
4					シルト混り砂	淡暗灰～暗灰	緩い～中位		全般に亘り，少量の貝殻砕屑片及び細粒土分(シルト分)を混入する砂分(細～中砂)主体のもの。4.00m及び6.00m付近はやや細粒土分(シルト分)増加傾向。高含水比を示す。		
5											
6											
7											
8	-5.56	4.90	8.60								
9	-6.86	1.30	9.90		有機質粘土	暗褐		硬い	やや多量の腐植物片を含み，火山灰薄層(10cm程度)を挟在するほぼ均質な細粒土分(粘土分)主体のもの。硬いが，乱すと粘性に富む。		
10	-7.56	0.70	10.60		砂混り粘土	淡茶青灰		非常に硬い	固結質。少量の腐植物片及び砂分(細～粗砂)を混入する細粒土分(粘土分)主体のもの。		
11					砂	淡青灰	中位		φ=2～5mm程度の粗砂状小礫を混入する粗砂主体のもの。やや高含水比を示す。		
12	-9.16	1.60	12.20								
	-9.56	0.40	12.60		シルト質粘土	暗青灰		硬い	少量の腐植物片を混入するほぼ均質な細粒土分(シルト～粘土分)主体のもの。		
13					砂	淡灰～淡青灰	中位～密な		ごく少量の礫分(φ=2～10mm程度)を混入する砂分(細～粗砂)主体のもの。14.15～14.25m間には粘土薄層挟在。	洪積層	
14											
15	-12.86	3.30	15.90								
16	-13.76	0.90	16.80		粘土	暗青灰		非常に硬い	固結質。ごく少量の腐植物片を混入するほぼ均質な細粒土分(粘土分)主体のもの。		
17	-14.66	0.90	17.70		砂	淡青灰	中位		細～粗砂一体のもの。		
18					砂質粘土	暗青灰		硬い～非常に硬い	やや固結質。多量の砂分(細～粗砂)を混入する細粒土分(粘土分)優勢のもの。		
19	-16.76	2.10	19.80								
20					砂	淡灰～淡青灰	中位～密な		全般に亘り，ごく少量の礫分(φ=2～10mm程度)を混入する砂分(細～粗砂)主体のもの。22.15～22.25m間は腐植物片を混入するシルト質粘土薄層を挟在。23.00m以深はやや高含水比を示す。		
21											
22											
23											
24	-21.46	4.70	24.50								
25					粘土質砂	暗青灰	中位～密な		やや固結状を呈す。多量の細粒土分(粘土分)を混入する砂分(細～粗砂)優勢のもの。		
26	-23.66	2.20	26.70								
27											

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	2	5	5	12／30	12
1.45 2.15	2	1	1	4／30	4
2.45 3.15	1	1	1	3／30	3
3.45 4.15	2	2	3	7／30	7
4.45 5.15	2	2	3	7／30	7
5.45 6.15	2	2	2	6／30	6
6.45 7.15	4	6	10	20／30	20
7.45 8.15	3	4	6	13／30	13
8.45 9.15	5	4	4	13／30	13
9.45 10.15	8	7	9	24／30	24
10.45 11.15	7	6	4	17／30	17
11.45 12.15	3	3	4	10／30	10
12.45 13.15	10	8	9	27／30	27
13.45 14.15	3	6	14	23／30	23
14.45 15.15	10	12	12	34／30	34
15.45 16.15	6	5	6	17／30	17
16.45 17.15	12	9	7	28／30	28
17.45 18.15	4	5	7	16／30	16
18.45 19.15	3	4	4	11／30	11
19.45 20.15	9	11	13	33／30	33
20.45 21.15	9	8	9	26／30	26
21.45 22.15	5	13	20	38／30	38
22.45 23.15	10	8	13	31／30	31
23.45 24.15	10	12	11	33／30	33
24.45 25.15	12	11	11	34／30	34
25.45 26.15	6	7	7	20／30	20
26.45 27.15	10	13	14	37／30	37



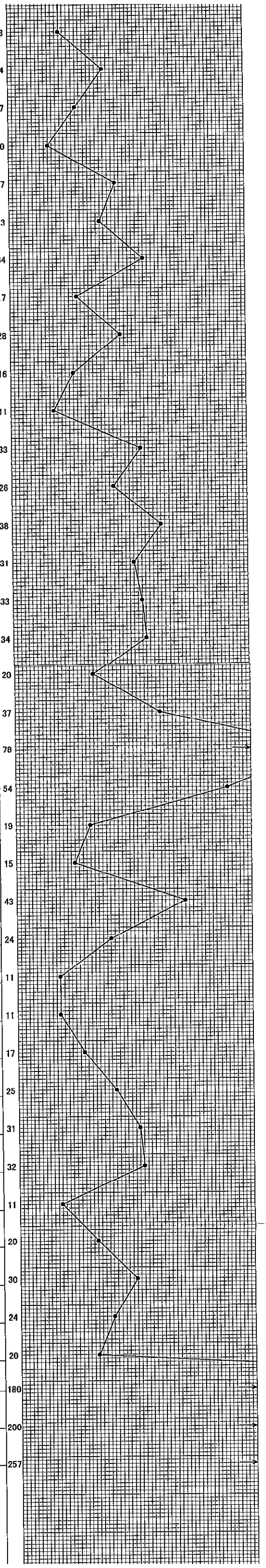
原位置試験 深度 (m)	試験名および結果

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
1.15	1	Ⓟ		
1.45 2.15	2	Ⓟ		
2.45 3.15	3	Ⓟ		
3.45 4.15	4	Ⓟ		
4.45 5.15	5	Ⓟ		
5.45 6.15	6	Ⓟ	含水・粒度	
6.45 7.15	7	Ⓟ		
7.45 8.15	8	Ⓟ		
8.45 9.15	9	Ⓟ		
9.45 10.15	10	Ⓟ		
10.45 11.15	11	Ⓟ	含水・粒度	
11.45 12.15	12	Ⓟ		
12.45 13.15	13	Ⓟ		
13.45 14.15	14	Ⓟ	含水・粒度	
14.45 15.15	15	Ⓟ		
15.45 16.15	16	Ⓟ		4／16
16.45 17.15	17	Ⓟ		
17.45 18.15	18	Ⓟ		
18.45 19.15	19	Ⓟ		
19.45 20.15	20	Ⓟ		
20.45 21.15	21	Ⓟ		
21.45 22.15	22	Ⓟ		
22.45 23.15	23	Ⓟ		
23.45 24.15	24	Ⓟ		
24.45 25.15	25	Ⓟ		
25.45 26.15	26	Ⓟ		
26.45 27.15				

-5.56	4.90	8.60	有機質粘土	暗褐		硬い	やや多量の腐植物片を含み，火山灰薄層(10cm程度)を挟在するほぼ均質な細粒土分(粘土分)主体のもの。硬いが，乱すと粘性に富む。
-6.86	1.30	9.90	砂混り粘土	淡茶青灰		非常に硬い	固結質。少量の腐植物片及び砂分(細～粗砂)を混入する細粒土分(粘土分)主体のもの。
-7.56	0.70	10.60	砂	淡青灰	中位		φ=2～5mm程度の粗砂状小礫を混入する粗砂主体のもの。やや高含水比を示す。
-9.16	1.60	12.20	シルト質粘土	暗青灰		硬い	少量の腐植物片を混入するほぼ均質な細粒土分(シルト～粘土分)主体のもの。
-9.56	0.40	12.60	砂	淡灰～淡青灰	中位～密な		ごく少量の礫分(φ=2～10mm程度)を混入する砂分(細～粗砂)主体のもの。14.15～14.25m間には粘土薄層挟在。
-12.86	3.30	15.90	粘土	暗青灰		非常に硬い	固結質。ごく少量の腐植物片を混入するほぼ均質な細粒土分(粘土分)主体のもの。
-13.76	0.90	16.80	砂	淡青灰	中位		細～粗砂一体のもの。
-14.66	0.90	17.70	砂質粘土	暗青灰		硬い～非常に硬い	やや固結質。多量の砂分(細～粗砂)を混入する細粒土分(粘土分)優勢のもの。
-16.76	2.10	19.80	砂	淡灰～淡青灰	中位～密な		全般に亘り，ごく少量の礫分(φ=2～10mm程度)を混入する砂分(細～粗砂)主体のもの。22.15～22.25m間は腐植物片を混入するシルト質粘土薄層を挟在。23.00m以深はやや高含水比を示す。
-21.46	4.70	24.50	粘土質砂	暗青灰	中位～密な		やや固結状を呈す。多量の細粒土分(粘土分)を混入する砂分(細～粗砂)優勢のもの。
-23.66	2.20	26.70	粘土	暗青灰		固結した	固結質。ごく少量の砂分(細砂)を混入するほぼ均質な細粒土分(粘土分)主体のもの。
-26.56	2.90	29.60	砂質粘土	暗青灰		硬い～固結した	全般に亘り固結質であるが，深度により固結度合いに変化を示す。やや多量の砂分(細～粗砂)を混入する細粒土分(粘土分)優勢のもの。
-30.66	4.10	33.70	粘土	暗青灰		硬い～非常に硬い	やや固結質。ごく少量の腐植物片及び砂分(細砂)を混入するほぼ均質な細粒土分(粘土分)主体のもの。
-33.76	3.10	36.80	砂混り粘土	暗青灰		硬い～固結した	固結質。やや多～少量の砂分(細～粗砂)を混入するほぼ均質な細粒土分(粘土分)主体のもの。
-37.86	4.10	40.90	粘土質砂	暗青灰～暗茶灰	中位～密な		やや固結状を呈す。多量の細粒土分(粘土分)を混入する砂分(細～粗砂)優勢のもの。
-41.56	3.70	44.60	強風化花崗岩	暗茶灰	非常に密な		風化による変質が著しく，真砂土化。採取時は原岩形状を留めるが，指圧にて容易に砕け，礫混り砂状と化す。岩級区分：D級。
-44.18	2.62	47.22					

洪積層　三豊層群　基盤岩

8.45–9.15	5	4	4	13/30	13
9.45–10.15	8	7	9	24/30	24
10.45–11.15	7	6	4	17/30	17
11.45–12.15	3	3	4	10/30	10
12.45–13.15	10	8	9	27/30	27
13.45–14.15	3	6	14	23/30	23
14.45–15.15	10	12	12	34/30	34
15.45–16.15	6	5	6	17/30	17
16.45–17.15	12	9	7	28/30	28
17.46–18.15	4	5	7	16/30	16
18.45–19.15	3	4	4	11/30	11
19.45–20.15	9	11	13	33/30	33
20.45–21.15	9	8	9	26/30	26
21.45–22.15	5	13	20	38/30	38
22.45–23.15	10	8	13	31/30	31
23.45–24.15	10	12	11	33/30	33
24.45–25.15	12	11	11	34/30	34
25.45–26.15	6	7	7	20/30	20
26.45–27.15	10	13	14	37/30	37
27.45–28.15	20	29	11/3	60/23	78
28.38–29.15	12	17	25	54/30	54
29.45–30.15	7	6	6	19/30	19
30.45–31.15	4	5	6	15/30	15
31.45–32.15	10	16	17	43/30	43
32.45–33.15	6	7	11	24/30	24
33.45–34.15	3	3	5	11/30	11
34.45–35.15	3	4	4	11/30	11
35.45–36.15	5	5	7	17/30	17
36.45–37.15	8	8	9	25/30	25
37.45–38.15	7	10	14	31/30	31
38.45–39.15	9	11	12	32/30	32
39.45–40.15	3	4	4	11/30	11
40.45–41.15	6	6	8	20/30	20
41.45–42.15	11	10	9	30/30	30
42.45–43.15	4	7	13	24/30	24
43.45–44.15	6	7	7	20/30	20
44.45–45.15	60			60/10	180
45.25–46.15	60/9			60/9	200
46.24–47.15	60/7			60/7	257
47.22					



9.15–9.45	9	Ⓟ	含水・粒度
9.45–10.15	10	Ⓟ	
10.45–11.15	11	Ⓟ	
11.45–12.15	12	Ⓟ	
12.45–13.15	13	Ⓟ	
13.45–14.15	14	Ⓟ	含水・粒度
14.45–15.15	15	Ⓟ	
15.45–16.15	16	Ⓟ	
16.45–17.15	17	Ⓟ	
17.45–18.15	18	Ⓟ	
18.45–19.15	19	Ⓟ	
19.45–20.15	20	Ⓟ	
20.45–21.15	21	Ⓟ	
21.45–22.15	22	Ⓟ	
22.45–23.15	23	Ⓟ	
23.45–24.15	24	Ⓟ	
24.45–25.15	25	Ⓟ	
25.45–26.15	26	Ⓟ	
26.45–27.15	27	Ⓟ	
27.45–28.15	28	Ⓟ	
28.38–29.15	29	Ⓟ	
29.45–30.15	30	Ⓟ	
30.45–31.15	31	Ⓟ	
31.45–32.15	32	Ⓟ	
32.45–33.15	33	Ⓟ	
33.45–34.15	34	Ⓟ	
34.45–35.15	35	Ⓟ	
35.45–36.15	36	Ⓟ	
36.45–37.15	37	Ⓟ	
37.45–38.15	38	Ⓟ	
38.45–39.15	39	Ⓟ	
39.45–40.15	40	Ⓟ	
40.45–41.15	41	Ⓟ	
41.45–42.15	42	Ⓟ	
42.45–43.15	43	Ⓟ	
43.45–44.15	44	Ⓟ	
44.45–45.15	45	Ⓟ	
45.25–46.15	46	Ⓟ	
46.24–47.15	47	Ⓟ	
47.22			

調 査 ボ ー リ ン グ

(Bor. No. 2)

ボーリング柱状図

調　査　名 [redacted]

ボーリングNo. 2

事業・工事名

シートNo. 2

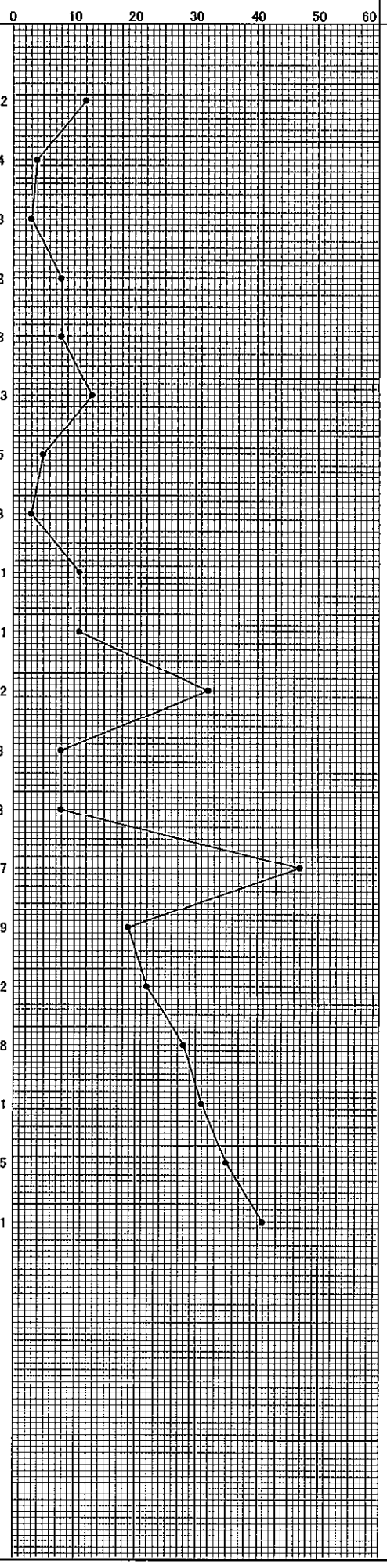
ボーリング名	[redacted](Bor.No.2)	調査位置	香川県三豊市詫間町地内			北緯	34° 12' 45.3"
発注機関	三豊市			調査期間	平成 25年 4月 16日 ～ 25年 4月 18日	東経	133° 41' 18.9"
調査業者名	[redacted]	主任技師	[redacted]	現場代理人	[redacted]	コア鑑定者	[redacted]	ボーリング責任者	[redacted]
孔口標高	GH=+3.04m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機: 東邦地下工機製D2－G型 / ハンマー落下用具: JIS規格品
総掘進長	20.50m								エンジン: ヤンマー製NFD－10型 / ポンプ: 東邦地下工機製BG－3B型

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	
	-0.46	3.50	3.50		埋土（礫混り砂）	茶灰	非常に緩い～中位		花崗土等による埋立て土砂。性状は少量の細粒土分(シルト分)及びやや多～少量の礫分(φ=2～20mm程度)を混入する砂分(細～粗砂)主体のもので構成され，礫混り砂状を呈す。3.00m以深は高含水比を示す。	人工土
	-4.86	4.40	7.90		シルト混り砂	淡灰～暗灰	緩い～中位		全般に亘り，少量の貝殻砕屑片及び細粒土分(シルト分)を混入する砂分(細～中砂)主体のもの。深部に行くに従い，細粒土分(シルト分)やや増加傾向。高含水比を示す。	沖積層
	-5.66	0.80	8.70		砂質シルト	暗灰		軟らかい	少量の貝殻砕屑片及び多量の砂分(細～中砂)を混入する細粒土分(シルト分)優勢のもの。粘性は乏しい。高含水比を示す。	
	-6.46	0.80	9.50		粘土質砂	淡暗茶灰	中位		多量の細粒土分(粘土分)を混入する砂分(細～粗砂)優勢のもの。	
	-7.76	1.30	10.80		粘土	淡青灰		硬い	やや固結質。ごく少量の砂分(細砂)を混入するほぼ均質な細粒土分(粘土分)主体のもの。	
	-9.11	1.35	12.15		砂	淡青灰	密な		細～中砂主体のもの。最深部はごく少量の礫分(φ=2～10mm程度)を混入。	
	-10.46	1.35	13.50		粘土	暗青灰		中位	ごく少量の腐植物片を混入するほぼ均質な細粒土分(粘土分)主体のもの。やや高含水比を示し，乱すと粘性に富む。	
	-15.56	5.10	18.60		砂	淡灰～淡青灰～淡黄茶灰	中位～密な		全般に亘り，少量の礫分(φ=2～15mm程度)を混入する砂分(細～粗砂)主体のもの。最上部は腐植物片の混入を認める。最深部はやや高含水比を示す。	洪積層
	-16.26	0.70	19.30		シルト質粘土	淡黄茶灰		非常に硬い	固結質。ごく少量の砂分(細砂)を混入するほぼ均質な細粒土分(シルト～粘土分)主体のもの。	
	-17.46	1.20	20.50		砂	茶灰	密な		ごく少量の礫分(φ=2～15mm程度)を混入する砂分(細～粗砂)主体のもの。	

孔内水位(m)／測定月日: 4/18 2.90

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	4	4	4	12/30	12
1.45～2.15	2	1	1	4/30	4
2.45～3.15	1	1	1	3/30	3
3.45～4.15	2	3	3	8/30	8
4.45～5.15	2	2	4	8/30	8
5.45～6.15	3	4	6	13/30	13
6.45～7.15	2	1	2	5/30	5
7.45～8.15	1	1	1	3/30	3
8.45～9.15	3	4	4	11/30	11
9.45～10.15	4	3	4	11/30	11
10.45～11.15	11	10	11	32/30	32
11.45～12.15	2	3	3	8/30	8
12.45～13.15	2	3	3	8/30	8
13.45～14.15	9	18	20	47/30	47
14.45～15.15	6	6	7	19/30	19
15.45～16.15	9	8	5	22/30	22
16.45～17.15	7	9	12	28/30	28
17.45～18.15	12	9	10	31/30	31
18.45～19.15	6	11	18	35/30	35
19.45～20.15	16	15	10	41/30	41
20.45					



原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
1.15	1	Ⓟ	含水・粒度	
1.45～2.15	2	Ⓟ		
2.45～3.15	3	Ⓟ		
3.45～4.15	4	Ⓟ		
4.45～5.15	5	Ⓟ		
5.45～6.15	6	Ⓟ		
6.45～7.15	7	Ⓟ		
7.45～8.15	8	Ⓟ		
8.45～9.15	9	Ⓟ		
9.45～10.15	10	Ⓟ		
10.45～11.15	11	Ⓟ	含水・粒度	
11.45～12.15	12	Ⓟ		
12.45～13.15	13	Ⓟ		
13.45～14.15	14	Ⓟ		
14.45～15.15	15	Ⓟ		
15.45～16.15	16	Ⓟ	含水・粒度	4/16
16.45～17.15	17	Ⓟ		
17.45～18.15	18	Ⓟ		
18.45～19.15	19	Ⓟ		4/17
19.45～20.15	20	Ⓟ		
20.45				

調 査 ボ ー リ ン グ

(Bor. No. 3)

ボーリング柱状図

調　査　名 [redacted]

ボーリングNo. 3

事業・工事名

シートNo. 3

ボーリング名	[redacted]（Bor.No.3）	調査位置	香川県三豊市詫間町地内			北緯	34° 12′ 47.2″
発注機関	三豊市			調査期間	平成 25年 4月 18日 ～ 25年 4月 19日	東経	133° 41′ 19.3″
調査業者名	[redacted]	主任技師	[redacted]	現場代理人	[redacted]	コア鑑定者	[redacted]
						ボーリング責任者	[redacted]
孔口標高	GH=+3.07m	角度	180°上 90° 0°下	方向	北 0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°
総掘進長	20.50m					使用機種	試錐機：東邦地下工機製D2－G型　ハンマー落下用具：JIS規格品 エンジン：ヤンマー製NFD－10型　ポンプ：東邦地下工機製BG－3B型

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	
					埋土（礫混り砂）	茶灰	緩い		花崗土等による埋立て造成土砂。性状は少量の細粒土分(シルト分)及びやや多量の礫分(φ＝2～20mm程度)を混入する砂分(細～粗砂)主体のもので構成され，礫混り砂状を呈す。3.00m以深はやや高含水比を示す。	人工土
	−0.43	3.50	3.50							
					シルト混り砂	淡灰～暗灰	非常に緩い～中位		全般に亘り，少量の貝殻砕屑片及び細粒土分(シルト分)を混入する砂分(細～中砂)主体のもの。高含水比を示す。	沖積層
	−5.63	5.20	8.70							
	−6.53	0.90	9.60		有機質粘土	暗褐		非常に硬い	固結質。多量の腐植物片を混入。最深部は火山灰薄層(20cm)を挟在。	
	−7.53	1.00	10.60		砂質粘土	淡黄茶青灰		非常に硬い	固結質。多量の砂分(細～粗砂)を混入する細粒土分(粘土分)優勢のもの。	
	−9.08	1.55	12.15		砂	淡灰	中位		細～粗砂一体のもの。少量の礫分(φ＝2～15mm程度)を混入。やや高含水比を示す。	
	−9.73	0.65	12.80		シルト質粘土	暗青灰		中位	やや高含水比。少量の腐植物片及び砂分(細砂)を混入。	
	−12.93	3.20	16.00		砂	淡灰～淡青灰	中位～密な		少量の礫分(φ＝2～10mm程度)を混入する砂分(細～粗砂)主体のもの。やや高含水比を示す。	洪積層
	−14.63	1.70	17.70		粘土	暗青灰		非常に硬い～固結した	固結質。ごく少量の砂分(細～中砂)を混入するほぼ均質な細粒土分(粘土分)主体のもの。	
	−15.23	0.60	18.30		砂	淡灰	密な		細～粗砂一体のもの。	
	−15.63	0.40	18.70		粘土	暗青灰		非常に硬い	固結質。ごく少量の砂分(細砂)を混入。	
	−17.43	1.80	20.50		砂	淡青灰	密な		少量の礫分(φ＝2～15mm程度)を混入する砂分(細～粗砂)主体のもの。やや高含水比を示す。	

孔内水位(m)／測定月日：4/19 3.10

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	2	2	2	6／30	6
1.45	2	1	2	5／30	5
2.15					
2.45	2	2	1	5／30	5
3.15					
3.45	2	3	3	8／30	8
4.15					
4.45	1	1	1	3／30	3
5.15					
5.45	5	4	5	14／30	14
6.15					
6.45	3	3	3	9／30	9
7.15					
7.45	3	4	3	10／30	10
8.15					
8.45	5	7	11	23／30	23
9.15					
9.45	4	6	7	17／30	17
10.15					
10.45	9	10	9	28／30	28
11.15					
11.45	2	2	2	6／30	6
12.15					
12.45	8	8	8	24／30	24
13.15					
13.45	10	11	13	34／30	34
14.15					
14.45	10	10	10	30／30	30
15.15					
15.45	4	5	6	15／30	15
16.15					
16.45	9	13	11	33／30	33
17.15					
17.45	12	8	4	24／30	24
18.15					
18.45	11	11	11	33／30	33
19.15					
19.45	9	12	15	36／30	36
20.15					
20.45					

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果
4.20	孔内水平載荷試験 Em=3.63MN/m2
4.80	

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（）	掘進月日
1.15	1	Ⓟ		
1.45				
2.15	2	Ⓟ		
2.45				
3.15	3	Ⓟ		
3.45				
4.15	4	Ⓟ		
4.45				
5.15	5	Ⓟ		
5.45				
6.15	6	Ⓟ	含水・粒度	
6.45				
7.15	7	Ⓟ		
7.45				
8.15	8	Ⓟ		
8.45				4／18
9.15	9	Ⓟ		
9.45				
10.15	10	Ⓟ		
10.45				
11.15	11	Ⓟ	含水・粒度	
11.45				
12.15	12	Ⓟ		
12.45				
13.15	13	Ⓟ		
13.45				
14.15	14	Ⓟ	含水・粒度	
14.45				
15.15	15	Ⓟ		
15.45				
16.15	16	Ⓟ		
16.45				
17.15	17	Ⓟ		
17.45				
18.15	18	Ⓟ		
18.45				
19.15	19	Ⓟ	含水・粒度	
19.45				4／19
20.15	20	Ⓟ		
20.45				

調 査 ボ ー リ ン グ

(Bor. No. 4)

ボーリング柱状図

調　査　名 [redacted]

ボーリングNo. 4

事業・工事名

シートNo. 4

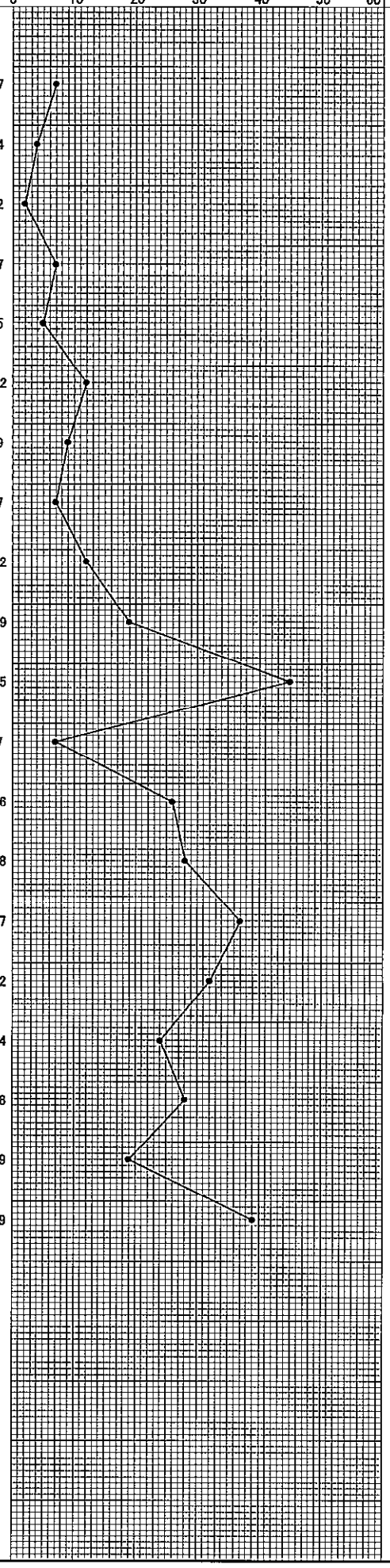
ボーリング名	[redacted]（Bor.No.4）	調査位置	香川県三豊市詫間町地内			北緯	34° 12′ 46.6″
発注機関	三豊市			調査期間	平成 25年 4月 18日 ～ 25年 4月 19日	東経	133° 41′ 17.4″
調査業者名	[redacted]	主任技師	[redacted]	現場代理人	[redacted]	コア鑑定者	[redacted]	ボーリング責任者	[redacted]
孔口標高	GH=+2.96m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機製D2－G型　ハンマー落下用具：JIS規格品
総掘進長	20.50m								エンジン：ヤンマー製NFD－10型　ポンプ：東邦地下工機製BG－3B型

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	
					埋土（礫混り砂）	茶灰	非常に緩い～緩い		花崗土等による埋立て造成土砂。性状は少量の細粒土分(シルト分)及びやや多量の礫分(φ=2～20mm程度)を混入する砂分(細～粗砂)主体のもので構成され，礫混り砂状を呈す。3.00m以深は高含水比を示す。	人工土
	-0.34	3.30	3.30		シルト混り砂	淡灰～暗灰	非常に緩い～中位		全般に亘り，少量の貝殻砕屑片及び細粒土分(シルト分)を混入する砂分(細～中砂)主体のもの。最深部は腐植物片を含むとともに，細粒土分(シルト分)もやや増加。高含水比を示す。	沖積層
	-5.54	5.20	8.50		砂質シルト	暗灰		軟らかい	高含水比で軟らかい。多量の砂分(細砂)を混入し，粘性は乏しい。	
	-6.14	0.60	9.10		粘土	暗青灰		硬い～非常に硬い	固結質。少量の腐植物片を混入するほぼ均質な細粒土分(粘土分)主体のもの。	
	-7.64	1.50	10.60		砂	淡灰	密な		細～粗砂一体のもの。ごく少量の粗砂状小礫(φ=2～5mm程度)を混入。	
	-9.14	1.50	12.10		シルト質粘土	淡青灰		中位	やや高含水比。腐植物片を混入するほぼ均質な細粒土分(シルト～粘土分)主体のもの。	
	-10.04	0.90	13.00		砂	淡灰～淡青灰	中位～密な		全般に亘り，少量の礫分(φ=2～10mm程度)を混入する砂分(細～粗砂)主体のもの。13.00m及び17.00m付近は少量の腐植物片を混入。最深部はやや高含水比となる。	洪積層
	-15.84	5.80	18.80		粘土	暗青灰		非常に硬い	固結質。ごく少量の砂分(細砂)を混入するほぼ均質な細粒土分(粘土分)主体のもの。	
	-16.54	0.70	19.50		砂	淡黄茶灰	密な		ごく少量の細粒土分(粘土分)を混入する砂分(細～粗砂)主体のもの。高含水比を示す。	
	-17.54	1.00	20.50							

孔内水位(m)／測定月日：4/19 2.85

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	3	2	2	7／30	7
1.45	2	1	1	4／30	4
2.15					
2.45	1	1／20		2／30	2
3.15					
3.45	3	2	2	7／30	7
4.15					
4.45	1	2	2	5／30	5
5.15					
5.45	4	4	4	12／30	12
6.15					
6.45	3	2	4	9／30	9
7.15					
7.45	3	2	2	7／30	7
8.15					
8.45	3	4	5	12／30	12
9.15					
9.45	5	6	8	19／30	19
10.15					
10.45	15	15	15	45／30	45
11.15					
11.45	2	2	3	7／30	7
12.15					
12.45	7	8	11	26／30	26
13.15					
13.45	9	10	9	28／30	28
14.15					
14.45	13	12	12	37／30	37
15.15					
15.45	10	11	11	32／30	32
16.15					
16.45	7	8	9	24／30	24
17.15					
17.45	8	9	11	28／30	28
18.15					
18.45	5	7	7	19／30	19
19.15					
19.45	11	13	15	39／30	39
20.15					
20.45					



原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
1.15	1	Ⓟ	含水・粒度	
1.45	2	Ⓟ		
2.15				
2.45	3	Ⓟ		
3.15				
3.45	4	Ⓟ		
4.15				
4.45	5	Ⓟ		
5.15				
5.45	6	Ⓟ		
6.15				
6.45	7	Ⓟ		
7.15				
7.45	8	Ⓟ		
8.15				
8.45	9	Ⓟ		
9.15				
9.45	10	Ⓟ		
10.15				
10.45	11	Ⓟ	含水・粒度	4／18
11.15				
11.45	12	Ⓟ		
12.15				
12.45	13	Ⓟ		
13.15				
13.45	14	Ⓟ		
14.15				
14.45	15	Ⓟ		
15.15				
15.45	16	Ⓟ	含水・粒度	
16.15				
16.45	17	Ⓟ		
17.15				
17.45	18	Ⓟ		
18.15				
18.45	19	Ⓟ		
19.15				
19.45	20	Ⓟ		4／19
20.15				
20.45				